

# グリーン調達

取引先と協力して、環境負荷の少ない原料の使用と、物流段階での資源利用抑制・廃棄物排出の削減に努めています。

## グリーン調達の考え方

東京エレクトロングループの中心事業である半導体やFPDの製造装置は、装置を構成する原材料や部品を外部から調達しています。

当社グループの事業活動全体を通じて環境負荷を低減するためには、調達する部品、原材料が環境に配慮して製造されたものでなければなりません。そこで、当社グループでは、環境負荷低減活動を積極的に行っている取引先から、グリーン調達ガイドライン\*に従い、環境に配慮された物品の購入を進めています。

将来は「環境面で一定の基準を満たした取引先」に限定した資材調達をスタートする予定です。



\*グリーン調達ガイドライン:グリーン調達ガイドラインでは化学物質、省エネルギー、包装・梱包、省資源・リサイクル、情報提供について基準と努力目標を策定

グリーン調達ガイドライン

## 2002年度の取り組み

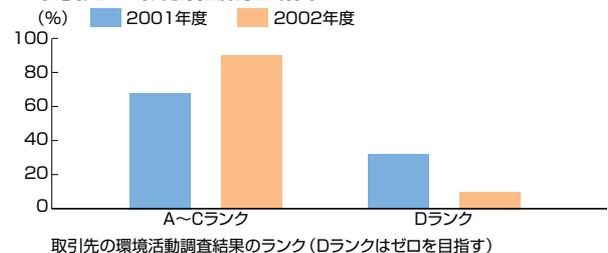
2001年度は、取引先に調査票を配布し、環境活動について回答していただきました。

環境配慮の度合いを4段階で評価し、取り組みが十分ではない取引先には、環境への取り組みを進めていただくためのプログラム二種を用意いたしました。当社グループから環境教育を実施する場合と、取引先が作成した改善計画書を基に相談しながら環境改善を進めていく方法です。これらのプログラムを実施した結果、図のように環境配慮が進んでいるA～Cランクの取引先が増加し、環境配慮が十分でない取引先(Dランク)は、対前年比で約3分の1と大幅に減らすことができました。

また、法規制された化学物質だけでなく、環境に負荷を与える物質を当社グループで自主的に定め、これらの物質の削減および代替を推進し、取引先への協力依頼を開始しました。

今後も取引先と協力して環境負荷の低減を進めていきます。

## 取引先の環境活動調査結果



## TOPICS

### グリーン調達担当者の声



東京エレクトロン九州株式会社  
合志事業所 品質保証部

井上 智

熊本は世界有数の地下水都市です。協力企業の環境管理レベル向上は、地域の環境保全への貢献でもあり、また、地域に衣食住を依存する私たちの問題でもあります。今後も地域環境への影響を念頭に努力したいと思います。

### コンテナ輸送による梱包材削減

従来はプラスチックダンボールごとに梱包し、納入していましたが、現在ではコンテナ全体を梱包してお客様のクリーンルームまで納入しています。車輪のついた立体的な構造なので余計なスペースをとらない上、一度に多数の製品を納入できるというメリットもあります。

この輸送方式の採用により、梱包材を削減し、さらに梱包・開梱の手間を減らすことができました。また、コンテナ全面がアクリルなので中身が確認しやすく、品物のキズ・破損防止にも役立っています。



納入に使われているコンテナ